

②チーム・地産知承 (湯梨浜町)

地域で受け継がれる文化を後世につなげようと、鳥取大地域学部3年の佐々木里桜さん(21)が、2023年度末に結成。フォトコンテストや地酒の試飲会など地域資源を生かしたイベントを開催し、「令和6年度鳥取県ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」の学生部門(大学生の部)で最優秀賞を受賞した。佐々木さんは名古屋出身。湯梨浜町橋津に住む祖母を訪ねるうち、海や山



地域の文化や魅力を後世に

があり、自然あふれる地域と地元の人々に魅了された。「橋津に来ると体調も良くなる。鳥取県で暮らしたい」と、鳥取大に進学を決めた。大学では地域に根差した活動を学び、橋津地区にある県指定保護文化財の橋津藩倉を活用しようとしてイベントを企画した。



公民館で行われた地酒試飲会

「イベントでは歴史好きの人だけを集めるのではなく、若い人にも参加してほしい」と、鳥取大に進学を決めた。大学では地域に根差した活動を学び、橋津地区にある県指定保護文化財の橋津藩倉を活用しようとしてイベントを企画した。

地区の一大行事、湊神社例大祭は町指定無形民俗文化財。大名行列が神やみこしなどと一緒に町内を練り歩き、みこしを担いだ人が海に入る迫力ある祭りで、県内外から多くの写真愛好家が訪れていることから、フォトコンテストも開催した。佐々木さんは「今後は高校生からも巻き込みたい。細く長く続けていければ」と思いを語る。